

令和元年度 第11回理事会報告

日 時: 令和2年3月5日(木) 14:10
～17:10

場 所: Japan Sport Olympic Square 3
階8号会議室

出席者: 八木原会長、亀山、丸各副会長、
尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常
務理事、相良、蛭田、町田、村上、山口、
水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、
古林各理事、中嶋、古屋各監事

欠席者: 平山副会長、小日向(テストイベ
ント準備)、村岡、安藤理事

1. 開 会

会長挨拶後、会議成立状況が報告され、
理事23名中19名出席、監事2名同席で
会議成立。続いて議長を選出し、議事録
署名人を指名して議事に入った。

2. 議 事

(1) 議案第1号 議事録の承認について

① 第10回理事会議事録の承認について
(事前送付済)

② 全国理事長会議の議事録承認につ
いて(事前送付済)

以上、異議なく承認された。

(2) 議案第2号 令和2(2020)年度事
業計画案について

新型コロナウイルスの拡散拡大によ
り、年度初めの事業が延期・中止になり
そうだが、提案通り承認された。

(3) 議案第3号 令和2(2020)年度収
支予算案について

尾形専務理事と相良理事から収支予
算案の提案説明があり、その後、予算管
理と執行について種々議論が交わされ
た。

高校選抜スポーツクライミング選手権
と指導委員会の一部予算修正の上、提案
通り承認された。

(4) 議案第4号 公認コーチの認定につ
いて

a. 山岳コーチ2

① 市川 剛 ② 島添 誠 (以上、大阪)

① 野崎雅之(岐阜)

b. 山岳コーチ1

① 河面信也② 中垣徹③ 谷池紀美子④ 古
谷赴夫(以上、大阪)

① 稲福恵美子② 久保まどか(以上、神奈
川)

① 橋川亨② 鈴木絵美子③ 橋川弘子④ 長
谷川善一⑤ 東明裕⑥ 梅田直美⑦ 草川明

⑧ 木村誠⑨ 稲垣吉昭(以上、三重)

c. 主任検定員更新

① 渡辺公二(鳥取) ② 寺崎良夫(福岡)
以上、一部訂正の上、承認された。

(5) 議案5号 夏山リーダー+UIAA 認定
について

議案第2号の決議に則り、積極的に準
備を進めていくことになり、追加予算は
120万円計上で、承認された。

3. 報 告

(1) 報告第1号 令和元年度第2次補正
予算について

強化委員会の自費参加選手の旅費交通
費を収支から外す。アスリートパスウェ
イの助成事業を追加。LYCの延期に伴い、
今年度予算から削除。LYCの協賛金は世
界選手権に振替などの補正予算が報告
された。

(2) 報告第2号 LJC/LYC 大会、延期に
ついて

(3) 報告第3号 2月月次決算報告

2月末経常増減額△24,156千円。

(4) 報告第4号 CAS 仲裁上訴の経緯・
現状について

(5) 報告第5号 世界選手権検証経過報
告について

(6) 報告第6号 「ストップ・ザ1000!!」
登山部報告について

Google Displayの配信結果について報
告があった。

(7) 報告第7号 SJC、BJC 報告について

(8) 報告第8号 アイスクライミング競
技の打ち合わせ経過について

(9) 報告第9号 共催名義承認について
国際青少年自然環境体験キャンプ
2020in 東京(HAT-J)

(10) 報告第10号 後援名義使用申請

① 「東北の高校生富士登山」(継続)

② 「山岳検定協会」(継続)

(11) 報告第11号 日山協山岳共済会
令和2年度事業計画及び収支予算につ
いて

(12) 報告第12号 業務執行理事の職務
執行報告

各業務執行理事より10月～1月の業
務執行が報告された。

(13) 報告第13号 役員派遣について

(3月6日～4月8日)

① オリンピックテストイベント

3月6日(金)～7日(土) 於: 青海アー
バンスポーツパーク 村岡、小日向理事、
安井強化委員長他

② スポーツ安全協会評議員会

3月19日(木) 於: 東海大校友館霞が
関ビル35F 尾形専務理事

③ 第3回CJC実行委員会

3月25日(水) 於: 盛岡市 村岡理事

④ FISE 4月3日(金)～5日(日)

於: 広島市・旧市民球場跡地 八木原会
長、村岡・小日向理事

⑤ 第14回日本山岳スキー競技選手権大
会 4月4日(土)～5日(日) 於: 梅池高
原スキー場 丸副会長、唐木理事、笹生
委員長

4. 専門委員会報告(抄録)

4-1. 2月登山普及委員会

2月10日(月) 出席者 3名

ア) 「登山普及情報交換会」について

2月15日(土)、国立オリンピック記念
青少年総合センター、センター棟 107
号室、情報交換会 27名、懇親会 22名、
宿泊 15名

イ)「那須甲子雪あそび隊」について
10日現在申込3名、問合せ2名。

4-2. 強化委員会

2月7日(金)、出席6名

ア) 協議

①スピード公認記録会について

・第1期 JMSCA パリオリンピックスピー
ド選手の育成を目的とする。

②日本代表及びユース日本代表選考に ついて

・2020年アジア選手権選手選考基準(CAS
の結果待ち)

・2020年コンバインドジャパンカップ
参加資格について

・2020年アジアユース選手権大会選手
選考基準について

③東京オリンピック選考について (CAS 問題とその後の想定)

・東京2020オリンピックの準備につ
いて

・3月6日～7日 テストイベントのヴ
ェニューツアーの参加者について

④BMI問題、リスクマネジメントにつ いて

⑤パリオリンピックへ向けて(強化戦略 プラン)

⑥2021年以降の日本代表チーム再編成 について

・2020年9月～12月 最終検討開始

⑦ユース日本選手権での講習会の実施 について (印西・倉吉)

⑧その他

・東京オリンピック使用ホールド発表

・東京オリンピックオフィシャル発表、
2020年主要大会オフィシャル発表

イ) 報告

① 2019年12月以降の強化活動の報告 ・オリンピック強化選手(インスブルッ ク合宿)

・ユース日本代表選手(フランスパリ合
宿)

② 第5期オリンピック強化選手の強化 練習会実施について

③ アスリートパスウェイの戦略的支 援委託事業のコーチ育成・アンケートに ついて

④ 選手選考基準に沿った強化と強化 スケジュール案について

ウ) その他

① 全国の施設整備の情報

京都、福山、葛飾。銚子の小学校にリー
ド壁ができる。

② 今後の大会の下見について

③ 澤田氏の研究について

④ コーチングスタッフミーティング 兼強化委員会次回委員会の開催につ いて

4-3 遭対常任委員会

2月26日(水) 参加14名

ア) AvSAR 上級講習会の報告

2月14日(金)～16日(日) 土合山
の家 参加者:15名(参加者 警察、陸
自、ガイド、一般参加者、JMSCA 遭対3
名、栃木岳連2名、愛知岳連1名)

イ) 減遭難活動について

・集計している事故件数を各県に展開し
ては如何か。

・モデルケースの山を決めて取り組んで
は如何か。

・取組結果を見える化にするため一般登
山者の遭難が多い山を抽出し、その中か
ら更にコースの絞り込みを行う等。

・山開きの日に大阪府岳連で行っている
様に登山届け提出の啓蒙活動を行って

は如何か。

・夏山リーダー養成講習会を通じて未組
織登山者への教育を行う。

ウ) 山岳遭難対策中央協議会第3回幹事
会報告

2月18日(火) 文部科学省16階、3
会議室、出席者10名

①山岳遭難セーフティーカード

夏用12万部、冬用8万部の計20万部を
作成。

a. インバウンド対策について

英語・中国語・韓国語の3言語で見積を
依頼。データのダウンロードも検討。

②令和2年度全国山岳遭難対策協議会 について

「異文化を通して考える日本の減遭難」
を目的とする。午前中は、例年どおり警
察庁と消防庁に依頼。午後は、前回同様、
村越先生にファシリテーターを依頼。

③その他

・新型コロナウイルスの関係で、各団
体で対策等はどうか。

5. 会務・役員派遣

(2月15日～3月4日)

(1) 日本勤労者山岳連盟第34回総会 2
月15日(土) 於:府中コンチネンタル
ホテル府中 13時～八木原会長

(2) ジュニア普及情報交換会

2月15日(土) 於: 国立オリンピック
記念青少年総合センター 八木原会長、
古賀理事他

(3) 令和元年度全国理事長会議 2月16
日(日) 於: TKP 渋谷カンファレンスセ
ンター 八木原会長他

(4) 氷雪技術研修会(A級主任検定員・
コーチ2養成講習会) 2月15日(土)～
16日(日) 於:鳥取・大山 蛭田理事

(5) 富士山利用者負担専門委員会 2
月17日(月) 於: 都道府県会館410
号室 尾形専務理事

(6) 山岳遭難対策中央協議会 第3回幹事会 2月18日(火) 於: 文部科学省16F3会議室 町田理事

(7) 第2回スピードジャパンカップ 2月22日(土) 於: 昭島市・モリパークアウトドアビレッジ 亀山副会長、尾形専務理事、村岡理事他

(8) 上級登山リスクマネジメント指導者研修会 2月22日(土)～23日(日) 於: オリンピック記念青少年総合センター 小野寺常務理事

(9) 日本山岳ガイド協会 役員改選委員会 2月25日(火) 於: ルノアール四谷3階 八木原会長